

大洋電機株式会社岐阜工場様（岐阜県本巣郡北方町）

ご利用いただいたコース

事業内容：船舶用・陸用発電システム他電機機器製造

令和6年度（2コース）

DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入 / DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

事業主の声

当社では“チームで助け合おう！”をメインスローガンとして掲げ、従来の制度を刷新し新たな人事評価制度を導入。人材育成目標である「話しやすく挑戦しやすい職場づくり」を目指し上司と部下との相互理解を深めるための面談を実施するなど社員がやりがいを持って働ける環境づくりを進めています。

今後の労働人口減少への対応や働き方改革実現のためには、現在の業務プロセスを維持し、生産性を向上させることが大前提であり、「デジタル技術に精通した人材の育成」や「各部署のIT知識のレベルアップ」が課題となっていました。

当社が抱える課題の解決策として、全社を挙げてDX人材の育成と生産性の向上を推進するためのDX推進プロジェクトを実施することになりました。以前に生産性向上支援訓練を受講したことがあり、ポリテクセンター岐阜に相談しましたところ、DXの基礎を学ぶコースの提案を受けました。年度はじめの早期の日程で且つ他県にある当社の工場と同時期に同じ訓練を実施する要望にも対応してもらえました。

訓練では、DXの説明から始まり、DXを活用して顧客満足度の向上やコスト削減、生産性向上を成功させるための活動方法について、グループで議論しながら学ぶことができ、非常に有意義でした。DX化を進めていくにあたり課題やDX化の必要性を推進メンバーで共有することができました。

受講者の声

“訓練を受講した生産管理部で工場の生産性向上業務を担当する馬淵さんのお話です。”

当社は、各部署間での情報共有がスムーズではないと感じていました。特に、デジタルツールの導入が進んでいない部署では、手動作業の業務が多く、プロセス全体の効率化が遅れている状況です。この課題を解決するために、各部署でのデジタル化の浸透を図り、統一したツールやプロセスを導入する必要があると感じていました。

訓練を受けて非常に多くのことを学ぶことができました。特に、DXの基礎を理解するだけでなく、実際の業務にどう活かしていくかについて具体的なアプローチを学べ、今後の業務に積極的に取り組んでいく自信ができました。

訓練で特に良かった点は、DXの概念を学べたことです。特に、DXを活用した業務の改善方法について多くの知識を得られ、現場で実践できるスキルを身につけることができました。また、グループワークを通じて他の参加者と意見交換を行い、自分の考え方を広げる良い機会にもなりました。

現在、当社のDX推進メンバーの一員として、RPAやワークフローなどのDXツールを活用しながら、さまざまな業務プロセスの生産性向上に取り組んでいます。

訓練を受けたことで、日常業務の中で以前は見落とししていた改善点に気づけるようになり、それを活かして業務改善を進められている点も大きな成果だと感じています。

今後は、より高度なデジタル技術やAIを活用し、業務の自動化・効率化をさらに進めていきたいと考えています。また、部署を超えた全社的なDX推進にも積極的にチャレンジしていきたいと考えています。

具体的な成果

訓練で学んだ内容は、まず社内の業務プロセスを見直すために活用しています。具体的には、デジタルツールを用いた業務効率化の取り組みが進んでおり、従来の紙ベースの記録管理をデジタル化することで、データの共有や転記作業の削減活動が始まっています。

デジタルツールや最新のIT技術に対する理解が深まり、これまでの業務に対する新しい視点を持つようになりました。特に、問題解決の手法や効率化のアイデアが増え、各自が積極的に改善提案を行う姿勢が見られるようになっています。

また、職場のコミュニケーションが活発化し、各部署間での連携がスムーズになりました。特に、これまでの紙ベースや手作業による管理から、デジタル管理へとシフトすることを意識して、ミスや時間の無駄の削減を目指すようになりました。

デジタルツールを活用することで、各部署が自らの生産性向上を目指して取り組んでいます。訓練を通じて学んだ知識を活かし、今後は部署を横断した会社全体の業務プロセスを効率化する取り組みを進めたいと考えています。



社屋外観

らしく、はたらく、
ともに

ポリテクセンター岐阜

ポリテクセンター岐阜では、人材の育成に関する相談や、生産性向上支援訓練や能力開発セミナーなどの実施等を通じて、事業主の皆様を支援しています。お気軽にご相談ください。

